

かしわ もり 柏葉の杜

学校だより NO. 20
令和元年 10月16日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

○台風19号被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

前号の19号の「柏葉の杜」で、台風19号の被害がないことを願いましたが、残念ながら、昨年の西日本を襲った豪雨と同じような台風19号による集中豪雨のため、多数の死者と行方不明者、そして、千曲川他たくさんの河川の堤防決壊・氾濫による水害のため、多くの人々が被災されたこと、心よりお見舞い申し上げます。48時間で1000mm近い降雨となり、年間降水量の3割から4割が2日間で降った地域もありました。台風19号がこれまでの想定を上回る大雨をもたらし、想像だにしない様な事態となりました。これを書いている時点では、死者61名・行方不明者13名（10月15日・午前6時時点）。避難者も1万人を超え、13都県に広がる大災害となりました。自然の怖さとともに、人間社会の脆さを思います。

わたしたちの置かれている自然環境が、これまでの常識では対応できない状況になっていることは忘れてはいけません。今後も、学校・家庭・地域で子供たちの安全に対して最善の備えを進めていきましょう。各家庭でも、非常時の避難方法や非常時の備えなどを、再度確認して下さい。

また、来月、八東フェスティバルの際の「非常時の児童引き渡し訓練」も方法を変え、安全な校舎内で児童をしっかりと確認しながら、各学年担任と保護者・引き受け者と顔を合わせ落ち着いて校舎内各教室での引き渡しを行います。学校は、耐震・耐風・耐雨で強固につくられています。安全な場所で引き渡しを行います。この点もご了解下さい。

一日も早い、被災地の復興を願わずにはいられません。そして、日本の気候・地球の気候が変動していることを、わたしたちは忘れてはいけません。温暖化による異常高温、台風の巨大化、想定を上回るような集中豪雨など、再度、防災を考えるべき必要があります。



○人権教育参観日

～ 社交ダンス、そして、車いすダンスの演技、体験、そしてお話から ～

先週の金曜日、たくさんの保護者のみなさんに御参加いただき、人権教育参観日を開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

公開学習では、1年から3年までは、道徳の授業を公開しました。テニスの錦織圭選手（1年）・医学者の野口英世博士（2年）・漫画家の水木しげるさん（3年）など、人物の生き方に学び、自分自身の生き方につなげることをねらいました。差別や苦難に負けることなく生きる姿は、人としての生き方につながる大切なことです。それは、裏を返せば、そうした人々を理解し、他者を尊重することにもつながります。また、4年生は、これからますます国際化する社会の中で、他文化を正しく理解することが大切です。外国語活動を通して、ジャマイカと日本の文化の違いに触れながら他文化を学びました。そして、5／6年は学級活動を公開しました。5年生としての自分たちを振り返り、6年に向けての意識づくりとともに、他者の意見を尊重しながら話し合いを深める。また、6年生は、卒業まで残すところ半年、こうした状況で自分たちの立場を考えながら、1年生との思い出づくりを話し合いました。各学年とも、人としての生き方、他者理解と他者との繋がりについて考えていく、そうした学習を公開しました。自分たちの今の姿を見つめる学習ともなりました。

また、その後の親子学習会・研修会では、本年度、「みんなでダンス！～パートナーシップでつながろう～」と題して、1部では、前田功・寿江さん御ご夫妻による社交ダンスの実技とダンス体験（ワールドダンスの実技研修）。第2部では、砂原正夫・ひとみさん御夫妻による車いすダンスの実技と5年児童の体験、そして、短い時間ではありましたが、講演を頂きました。

第1部では、子供たちが友達と手を繋ぎ、笑顔で踊る姿に感動しました。前田御夫妻からも、八東小の素直な子供たちの姿を褒めていただきました。保護者のみなさんの上手なダンスの姿も感動しました。第2部では、脳梗塞で予期せぬ形で障がいを持った砂原御夫妻が、車いすダンスを通して、新たな形で社会と繋がり、前向きに歩む姿に心動かされました。閉じこもりがちになりそうな人生を、車いすダンスを通して切り拓いて来られたお二人の姿は力強く、多くの学びがありました。また、リハビリの面でも重要な意味を持つ、パラスポーツの意義も学ぶことができました。両ご夫妻の話に共通していた点がありました。

「できないことを非難するのではなく、できたことを褒めて下さい。それが大切です。」（前田さん）

「できないことを探さず、できたことをたくさん見つけましょう。そして、次には新たな目標を持って、できることを一つでも多くつくしましょう。」（砂原さん）

ダンスを通しての学びでしたが、子供たちへの日々の教えにもつながる内容でした。今の成長や進歩を具体的に認め、次の目標を持ち、そこに向かって歩みを進める生き方。

保護者のみなさんの感想を多数お寄せ下さい。よろしくお願いします。





【御二組の華麗ですてきな心動かされるダンス、そして、楽しいワールドダンス体験、車いすダンスの実技体験の様子から】
相手を思う心。相手を尊重する心。相手を信頼する心。 大切なことです。

○児童の活躍から

「第21回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」

- ・鳥取県小学校教育研究会社会科部長賞 2年 大村かりん 「やず町のバスていはいはここある」
- ・(社)地図協会理事長賞 5年 西田佳夏 「つながろう! R29で」

「令和元年度八頭郡小教理科部・理科学研究審査会」

- ・東部教育局長賞 2年 中田志和 「アゲハ羽化までのかんさつ」
- ・県小理会長賞 3年 内田陽菜 「地球をひやそう!! ~ うち水のこうかを調べる ~」

「第28回MOA美術館鳥取児童作品展」

(書写作品展)

- ・朝日新聞鳥取総局賞 5年 西田佳夏
- ・努力賞 5年 山根優菜

(絵画作品展)

- ・MOA美術館奨励賞 1年 佐藤由奈 (全国展へ参加)
- ・努力賞 6年 小林颯真
- ・朝日新聞鳥取総局賞 5年 藪田 夏々実
- ・金賞 3年 内藤大翔
- ・5年 西田佳夏
- ・銅賞 1年 永原 花
- ・2年 中田志和
- ・2年 山本莉愛

※文化の秋、今後は競書会や図画作品審査会などもあります。

そして、17日(木)は、県児童陸上記録会・陸上の部が、布勢のコカコーラススポーツパークであります。また、20日(日)には、県民スポレク祭が同じ会場であります。陸上シーズンの締めくくりです。

「第14回森下広一杯八頭町マラソン大会」

- ・小学生男子 3km 第6位 大村 宗磨 12分47秒

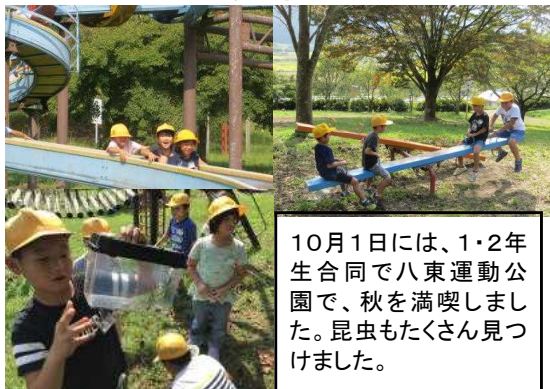
* 今年も日本のオリンピック男子マラソンメダリスト2名・君原健二さん・森下広一さんが参加されました。

※これからの学校生活が子供たちの文化面、運動面での実りある秋となることを祈ります。

【 秋の校外学習や体験学習から～ 写真で紹介 ～ 】 まさに「実りの秋」 ～ 1・2年生の活動の様子から ～



10月4日には、毎年恒例の1・2年のポニー教室。丹比小校庭でポニーと交流し、おそろおそろの乗馬体験・えさやり体験でした。



10月1日には、1・2年生合同で八東運動公園で、秋を満喫しました。昆虫もたくさん見つけました。

10月8日には、1・2年生の異文化理解体験講座。フィリピン・田中アウリアさん、ウガンダ・ロバート・チアドリさんと交流しました。



1・2年生も上学年に負けない程、成長しています。たくさん体験しながら学んでいます。

